

ふちゅう東西南北 第52号 生涯学習だより

編集： 府中市生涯学習ボランティア「悠学の会」
発行： 府中市生涯学習スポーツ課 / 府中市生涯学習センター



生涯学習センターで 夏休み子ども向け講座がスタート



本年度生涯学習センターでは、初めての取り組みとして夏休みの子ども向け(幼児・小学生向け)の講座を8講座用意し募集することとなりました。

母と娘でつくる夏のお菓子とオリジナルパッケージ	7/26(日) 15時
手作りエコおもちゃ教室(小学低学年対象)	7/28(火) 10時
手作りエコおもちゃ教室(小学高学年対象)	7/29(水) 10時
パパ・ママといっしょ!銅版画のお絵描きしよう	8/1(土) 10時30分
小学生のためのプログラミング講座	8/4(火)5(水)6(木)7(金) 10時
キッズ英会話①	8/24(月)26(水)28(金) 13時30分
②	8/24(月)26(水)28(金) 14時45分
ジュニア英会話	8/24(月)26(水)28(金) 16時15分



詳細の問い合わせ 050-3491-9849 府中市生涯学習センター

昨年までは夏休み期間、2, 3のこども向け講座がありましたが、今回は更に「こども向け」の講座を拡充しました。生涯学習センターは、本来は全世代の全市民に向けて広く開かれた存在です。でもある程度まではやむを得ないこととはいえ、現実には普段から当センターで学ぶことができる方々は、どうしても限られてしまいます。それに対し夏休みは、学校授業などのあるときには来られない子どもたちが、来館して学ぶことのできる大きなチャンスです。

おもちゃ作りやお菓子づくり、英会話やプログラミング、銅版画など、講座を通して自ら主体的に学ぶことの喜びを知ってほしいという願いが私たちにあります。そして、学んでくれた子どもたちが将来、この学習センターの良き利用者として成長して行って欲しいと思います。もちろん親子で共に学ぶことを通して、親子のコミュニケーションを育むことも期待できます。(生涯学習センター 講座担当 井谷泰彦)

—編集部より—

将来までも見据えた今回の企画の意図がよく理解できました。各講座の費用を最小限抑えるなど、また講師の選定にあたっての苦労話など、様々あったと聞いています。今後のためにも是非こうした企画が成果を上げ、時期なども夏休みだけにとどまらず、新しい発想のこども向け講座がさらに充実することを願っています。

(記:渡邊繁雄)

第22回 府中市生涯学習フェスティバル 特別講演 決まる
スペインの食文化 一歴史のなかの共創(Co-creation) —
講師：立石博高氏(東京外国語大学 学長)

平成27年9月12日(土) 会場：府中市生涯学習センター 2階講堂
午後2時~3時30分



おはなし夢くらぶ

赤ちゃんから大人まで、絵本やおはなしの楽しさを味わってほしいと、絵本好きの保育士・学童職員・学校図書館司書・OGが集まりました。子どもの体を育てるのは「寝」「食」ですが、心を育てるには「遊び」と共に絵本、おはなし、わらべ唄の世界も大切な役割を果たします。そして親子が共に参加する楽しさは、子どもの感性を育ててくれます。そんな思いから、文化センター、女性センター、保育所、たち等で「おはなしとあそぼ！ひろば」や「季節のおはなし会」等を開催しています。

「おはなしとあそぼ！ひろば」はおはなし会・わらべ唄・工作の3つをセットにした親子の遊びの会で、0～3歳児向けと幼児～小学生向けを行っています。0～3歳の会では、ママが工作した物を使って即興で子どもにお話をしてあげたり、幼児～小学生の会では上の子が下の子の工作を手伝ったり…。

また「大人のおはなし会」は、年2回行っています。聞き手と語り手を共に包み込み、温かな時を創り出すおはなしの世界をぜひお聞きください。



おはなし夢くらぶの仲間たち

9月13日(日)、生涯学習フェスティバルのワークショップにおいて「おはなしとあそぼ！ひろば」を開催します。どうぞ遊びにいらしてください。

活動日： (定例勉強会) 毎月第2金曜
時間： 18:00～21:00
場所： 中央文化センター、女性センター
連絡先： 須山優子(代表) 042-360-1272

創作太鼓集団 友絆(ゆうき)

私たちは、沖縄県で踊られているエイサーを基にした創作エイサーをしています。エイサーとは、沖縄県でお盆の時期に踊られる伝統芸能で、現世に戻ってくる祖先の霊を送迎するために、若者たちが歌と囃子に合わせて踊りながら道を練り歩くものです。そのエイサーを基にして創られたのが創作エイサーであり、本来歌われる沖縄民謡に限らず、ポップソングなどを使用し、観客を魅せるためのエイサーとして今では沖縄県内にとどまらず全国で踊られるようになっています。



太鼓の演舞

伝統エイサーでは、普通男性が太鼓を持ち女性は手踊りのみでの演舞となりますが、創作エイサーでは女性も太鼓を持つことができ、年齢制限もなく老若男女さまざまな方が活躍しています。

現在のメンバーも、未経験から始めていますので自信がなくても大丈夫です。一から丁寧に教えます。何より、楽しくエイサーを踊ることが1番の目標です。

私たちの活動目的として、たくさんの人たちに沖縄の魅力やエイサーのことを知ってもらいたいという想いがあり、沖縄県や都内で活躍している他団体とも交流をしながら日々練習に励んでいます。

沖縄が好きな方、エイサーを踊ってみたい方、少しでも興味がありましたら見学だけでも大歓迎です。一緒に楽しく踊ってみませんか。

活動日： 毎週日曜日 (舞台間近の場合追加練習あり)
時間： 9:00～12:00 (練習場所により変動あり)
場所： 府中市内文化センター及び国立市南区公会堂
会費： 月額2000円 (別途太鼓等購入負担の場合あり)
連絡先： 加藤 080-5690-8981

「生涯学習」この人に聞く その④

～点訳ボランティア「てまり」 井口房子さん～

今回は府中市の「点字ボランティアの養成講座」を受け、その後、点訳ボランティア「てまり」で活動をされている井口さんに登場いただきました。

Q ボランティアを始めたきっかけは

長いあいだ勤めていたので、退職と同時に暇になり半年で体重が10kgも増えてしまいました。さらに、高血圧・高脂血症の心配も出てきてこれは大変と、一念発起して減量に取り組みはじめました。しかし、サプリメントなどは嫌なので、出来れば漢方で治したいと考え、漢方の学校で二年間学びその後は自分で薬草をあつめ、煎じて現在も飲み続けています。

学校修了後は、これからは何かボランティアで社会に恩返しをしたいと考え、介護センターでボランティアとしての活動をスタートしました。そのかわり、趣味としてウォーキングの会「シシユズクラブ」を作り仲間と歩きまわっていましたが、現在は介護センターのボランティア仲間の出(い)で有二氏が起ち上げた「クラブK2」に参加してウォーキングを楽しんでいます。

その後、府中市が開催した「点字ボランティア養成講座」を受講し、現在は点訳ボランティア「てまり」の会員として、点訳にも携わっています。

Q 「てまり」とはどのような会ですか

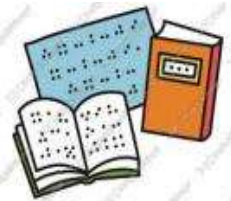
「てまり」は10年前に、府中市の点字ボランティア養成講座を受講した一期生の仲間が立ち上げた会で、私は入会して5年ほどになります。現在は17名の会員で、日本点字図書館からの依頼を受けた仕事を中心に点訳をしています。その他NHKの「ラジオ深夜便」の一部の点訳とか、宅配便や飲食店の点字メニューの作成など幅広い仕事をしていて、「てまり通信」として情報を発信しています。毎週木曜日午前中に定例会があり、午後は英文の点訳のために二級英語の勉強をしています。(NHK ラジオの「仕事の英語」点訳のため)

その他府中市では、中途失明をされた方のための点字講座を開催していますが、その講座用資料の作成を市から依頼を受けたりと、毎日忙しく活動しています。

Q 点訳の仕事とはどのような作業ですか

昔は、手作業にて点字版に穴をあけて行くため大変な作業でしたが、現在は、自分のPCをネットにつないで点字システムを取り込み、いただいた原稿を点字表に基づ

いて印刷用のデータに変換していくのですが、私の場合は家で作業をしますと、時間を忘れて作業に没頭してしまうため、必ず学習センターに来て閉館まで作業をすることにしています。そして、データを作成後は皆さんが正しく入力されているかの確認作業(校正)に入りますが、一人の原稿を何人もの手で校正していくため、全員の原稿を校正するのは大変な作業となります。校正が済むと印刷に入りますが、以前は裏表別々に印刷するしかできませんでしたが、現在のセンターの印刷機は両面印刷が出来るので、非常に便利になりました。ただ、作業は目を使う仕事なので、私にはひと苦労です。



点訳本例

Q 今後の活動についてお聞かせください

会社勤めのころは、働いて給料をもらうのも、それなりに社会貢献の一つと考えていましたが、退職後はポットしている毎日でした。このままではいけないと考え何かボランティアをすることで社会貢献が出来ればとの思いから介護センターのボランティアからスタートしました。現在は、介護センターの運動普及員として、また点訳ボランティアの一員としての活動のかわり、片町文化センターで開催される「男の料理教室」の手伝いもしています。また、「てまり」の会員の中に府中市民交響楽団の団員がいて、その関係から、演奏を聴きにこられる目の不自由な方がたのためのプログラムを「てまり」で作成すると同時に、ボランティアとして、会場での案内役等も引き受けています。

つい最近足を痛めてしまい以前のようにウォーキングも出来ず今は治療に専念していますが、出来る限り自分の健康に留意しながら頑張っていきたいと思っています。

(記：根岸 光紀)



井口房子さん

読者のみなさんへ： このシリーズでは生涯学習の分野で活動されている方々をご紹介します。ご存じの方がいましたら編集部までご連絡ください。

今回は市の南部、矢崎町で世界屈指の光学技術と評判の高い株式会社五藤光学研究所を紹介します。

同社は1926年、世田谷区三軒茶屋での五藤齊三氏の創業に遡ります。五藤家は高知県山内家の国家老の家系です。齊三氏は高等小学校を卒業後、地元の銀行や商社、製紙会社などの勤務を経て30歳で日本光学に就職しました。どんな立場にいても常に人の役に立つアイデアをと歩んでいるうちに天文学の魅力に辿り着き、安価な屈折望遠鏡を普及させたいと同社を退職して五藤光学研究所を創業するに至りました。

社名を「研究所」としたのは「従業員全員が常に作業即研究という態度で仕事をしたい」との願いを込めたとのこと。それが発展し、天文学は人に夢を与える仕事と思うようになりプラネタリウム製作に取り組みます。

世田谷区の敷地が道路拡張で立ち退きを求められた時期に府中から誘致の話があり、環境が良い、水が良いなどの好条件もあり、さらに視察の際に現在の地から富士山が非常に綺麗に見えたことで移転を決断しました。



社章

社章に月とレンズに併せて富士山がデザインされているように創業者は富士山に特別の思い入れがある方でした。そして1984年、府中市矢崎町に本社が完成しました。隣接の大東京総合

卸売センターも同社の系列会社です。同社の敷地内は桜が多く、毎年春にはお花見の会も開催されるとか。

プラネタリウムの原理はピンホール式とレンズ投映式がありますが、同社の製造するレンズ投映式はサッカーボールのような32面体にレンズをはめ込み光を集光して投映する方式を元にしており、そのレンズの性能が機器を左右することになります。性能が劣れば、投映された光が米粒状になったり円盤状になったり正確な星を表現することは出来ません。宇宙の動きを表現するには光を投映するだけではなく、天体の動きを忠実になぞる制御の技術も重要です。プラネタリウムが総合的精密技術の結晶とも言われる所以です。

2012年、多摩六都科学館に納入されたプラネタリウム「ケイロンⅡ」は約1億4千万個の恒星投映を実現し世界一を達成、ギネスブックにも認定されました。(ケイロンとは、ギリシャ神話に登場する半人半馬の動物です。)

その光学技術が優れているとの称賛には、技術は比較するものではなく常に向上を目指した結果であるという。自分の作った製品が人に喜ばれる。喜ばれればさらに向上を目指し精度の向上に繋がると言う好循環の姿勢です。その積み重ねの結果が技術力、

製品力、創造力の向上、製品の優秀性に表れています。



しかし、プラネタリウム事業においてレンズの研磨、投映機器の製造は業務の一部にしか過ぎません。ドームの設計・建築、機器の保守、施設の運営サポート、そして映像に合わせて天文学を楽しく分かり易くする解

説やシナリオなどの情報部門も欠かすことは出来ません。プラネタリウムは星を見て楽しむだけではなく、天文学が人間にとって身近なものであり、それを理解することが如何に意義深いものであるかを考えるための場でもあります。

その場で映像を追い鑑賞するだけではなく、現在という瞬間が壮大なストーリーの舞台にいると感じられるような時間の表現でもあるので、人類の遙かなる太古の昔から、無限に続く遠い未来を予測するところまで学べるのです。そのために、天文学はもとより写真・映画・シナリオ・教育関係者など多彩な経歴を持つ社員が、それぞれの経験と知識を活かして広範な創造に取り組んでいます。つまり五藤光学研究所の業務は夢の宇宙空間を創造するトータルクリエイターといえるのです。

これから五藤光学研究所が目指す分野は、ハイブリッド・プラネタリウムです。それは光学式プラネタリウムと全天周デジタル映像システムが融合した技術です。それは見るというよりも「感じる映像」で宇宙の中の一点にいる自分を実感出来るような高い表現力と演出力を誇り、すべての世代を魅了するような高度な技術で発展性のある新世代の課題として取り組んでいます。

創業者は「名を売れ、人の真似はするな、創意工夫を凝らして自らの手で開拓せよ」と唱えていました。星好きの人間が集まって、その創業の精神を誇りとし「星とともに、技術をもとに」発展を目指しています。

同社のプラネタリウムは、府中市郷土の森博物館など、これまでに国内約7割、海外約4割の納入実績(累計)がありますが、府中発の製品が世界に広がり、光学技術と共に TOKYO FUCHU の知名度が向上するよう邁進したいと話しています。(記：小林清次郎)

企画・編集：府中市生涯学習ボランティア「悠学の会」
 共同発行：府中市文化スポーツ部生涯学習スポーツ課
 ふちゅう生涯学習センター共同事業体
 〒183-0001 府中市浅間町 1-7
 府中市生涯学習センター TEL：042-336-5700
<http://fuchu.shogaigakushu.jp/>